

令和 7 年度 第 1 回認知症施策事業推進委員会 次 第
日時 令和 7 年 9 月 17 日 (水) 午後 7 時から
場所 Web 会議及び小金井市役所第二庁舎 801 会議室

1 開会

2 事務局より (委員・事務局出席者紹介 会議録の作成等)

3 委員長、副委員長互選

4 議題

- (1) 認知症施策事業推進委員会について
- (2) 「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」策定にかかる各種調査の概要および認知症に関連するアンケート項目について
- (3) 令和 6 年度認知症施策関連事業の実施実績について
- (4) 令和 7 認知症施策事業の実施予定について
- (5) 認知症講演会およびお元気サミットについて

5 その他

6 閉会

次回 令和 年 月 日 () 19 時からを予定

【配付資料】

- (1) 認知症施策事業推進委員会について
- (2) 「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症推進計画」策定に係る各種調査の概要
- (3) アンケート調査項目について (認知症関連部分抜粋)
- (4) 令和 6 年度における認症関連事業の実施実績
- (5) 令和 7 年度における認知症事業の実施予定
- (6) チームオレンジの設置状況について
- (7) 認知症講演会 (普及啓発) について
- (8) 令和 6 年度お元気サミット・介護未来フェスアンケート集計結果
- (9) 令和 6 年度お元気サミット・介護未来フェス実施報告

認知症施策事業推進委員会について

令和7年9月17日

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

- 1 国や市の認知症施策に関する動向等
- 2 市の高齢者人口・認知症有病者等推計
- 3 これまでの検討経過・実績等について

1 国や市の認知症施策に関する動向等

(1) 認知症施策大綱 (令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定)

- ・認知症の進行に応じた5つの具体的な施策や、その達成のために必要な数値目標、目指すべき社会像等が示されており、我が国の認知症施策における基本となるもの。
- ・「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」※1を車の両輪として施策を推進」を基本的考え方とする。

※1 「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味。

1 国や市の認知症施策に関する動向等

(2) 共生社会の実現を推進するための認知症基本法の制定 (令和6年1月)

①法の目的

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進⇒認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に發揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現を推進

②基本理念（7項目）

- ・基本的人権を享有する個人として認知症の人の意思によって日常生活及び社会生活を営むことができる。
- ・共生社会を推進するために認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深める。
- ・認知症の人にとって日常生活等で障壁となるものを除去する。地域において安全にかつ安心して自立した日常生活を営むことができること。また意見表明の機会の確保等
- ・認知症の人の意向を十分に尊重し、良質かつ適切な保健医療サービス及び福祉サービスが切れ目なく提供されること。
- ・認知症の人、家族等に対する支援、認知症の人及び家族等が地域において安心して日常生活を営むことができること。
- ・共生社会への研究等の推進、認知症及び軽度の認知機能の障害の予防、診断及び治療、及び介護により認知症の人の尊厳を保持し、希望の持ち、社会参加できること、その社会環境の整備
- ・教育、地域づくり、雇用、保健、医療、福祉その他の各関連分野における総合的な取組として行われる。

1 国や市の認知症施策に関する動向等

(1) 小金井市認知症施策事業推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 認知症の者が本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域でのよい環境で暮らし続けられるとともに、認知症の者及びその家族が安心できるよう、認知症施策を推進するため、小金井市認知症施策事業推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を協議する。

認知症の者及びその家族に対する支援策の調査及び検討に関すること。



★認知症施策大綱、基本法の理念に則り施策内容を協議、検討を行う。

(2) 認知症施策推進計画の策定

基本法の理念に則り国、都の計画を踏まえて推進計画を策定。認知症施策事業推進委員会にて第10期介護保険事業計画と一体的に策定することを決定。

2 市の高齢者人口・認知症有病者等推計

	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
人口	126,492	127,822	127,668	126,809	125,251	123,321
高齢者人口	27,251	29,294	31,746	34,114	35,848	36,998
(高齢化率)	21.5%	22.9%	24.9%	26.9%	28.6%	30.0%
認 知 症 有 病 者	有病率一定 と仮定	5,041	5,917	6,794	7,062	7,313
	(有病率)	18.5%	20.2%	21.4%	20.7%	20.4%
	有病率上昇 と仮定	5,450	6,591	7,810	8,392	8,998
	(有病率)	20.0%	22.5%	24.6%	24.6%	25.1%

【引用元】

※ 人口・高齢者人口は「小金井市人口ビジョン（令和3年5月策定）」

※ 認知症有病率は、「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授）」

3 これまでの主な検討経過・施策の実績等について

- (1) 認知症ケアパス（認知症安心ガイドブック）の策定・改訂
- (2) キッズ認サポ（小中学生）に関する拡充
 - ・令和6年度：5校で実施 617名参加 令和元年度～累計 2,507名
- (3) 認知症施策に関する普及啓発に関する提案
 - ・世界アルツハイマーデーに合わせて市役所・図書館等で展示スペースを設置
- (4) 認知症施策に関する普及啓発活動内容の検討
 - ・お元気サミットの内容の検討
- (5) 地域の居場所づくり（認知症カフェ等）に関する提案
 - ・さくら体操会場での要介護者の受入態勢の整備、認知症カフェの増設
 - ・チームオレンジの設置 拡充

**「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」策定に係る
各種調査の概要について**

小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定のための基礎資料として活用するため、無作為に抽出した対象者に調査票を郵送し、6種類のアンケートを実施する。

【調査実施期間】 令和7年11月ごろから概ね3週間

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（国指針準拠）

生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進等のために必要な社会資源の把握を行い、介護予防の推進・充実に向けた方策の検討資料とする。

調査対象者	・自立（要介護・要支援認定者を除く第1号被保険者） ・要支援認定者（未利用者含む）		
回答方法	郵送・Web		
人 数	1,800人		
前回の調査実績			
有効回収数	1,157 / 1,800	回 収 率	64.3%

2. 在宅介護実態調査（国指針準拠）

要介護者の在宅生活の継続や介護の就労継続に有効な介護サービスのあり方の検討資料とする。

調査対象者	要支援・要介護認定の更新・区分変更申請者		
回答方法	① 郵送・Web ② 聞き取り調査 ※聞き取り調査では調査票の郵送なし		
人 数	① 1,000人 ②市調査員により実施		
前回の調査実績			
有効回収数	523 / 1,000	回 収 率	52.3%

3. 介護保険サービス利用意向調査

介護保険サービスの利用者に対して、サービスの利用状況と利用意向を探り、介護保険サービスの整備等に関する検討資料とする。

調査対象者	要介護認定者（未利用者含む）		
回答方法	郵送・Web		
人 数	1,000人		
前回の調査実績			
有効回収数	396 / 1,000	回 収 率	39.6%

4 施設等サービス利用者調査

介護保険施設サービス等の利用者の状況把握とともに、サービス等への満足度を探り、今後の施設サービスのあり方に関する検討資料とする。

調査対象者	介護保険施設サービス等を利用する要介護認定者		
回答方法	郵送・Web		
人 数	300 人		
前回の調査実績			
有効回収数	83 / 200	回 収 率	41.5%

5 事業者調査

居宅サービス事業者、施設サービス事業者等の活動状況、事業の展開意向、事業の展開上の課題、介護人材の実態を把握し、事業者に対する支援等に関する検討資料とする。

調査対象者	・居宅介護支援事業所 ・介護予防支援事業所 ・居宅介護・介護予防事業所 ・施設サービス事業所		
回答方法	郵送・Web		
人 数	160 人		
前回の調査実績			
有効回収数	84 / 160	回 収 率	52.5%

6 ケアマネジャー調査

市内在住の高齢者の居宅介護計画（ケアプラン）を作成しているケアマネジャーの業務の状況や、業務全般の考え方、医療と介護の連携の状況等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策等に関する検討資料とする。

調査対象者	居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に在籍するケアマネジャー		
回答方法	郵送・Web		
人 数	100 人		
前回の調査実績			
有効回収数	66 / 100	回 収 率	66.0%

高齢者等実態調査 設問一覧

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（高齢一般）
2. 在宅介護実態調査（介護実態）
3. 介護保険サービス利用意向調査（在宅意向）
4. 施設サービス利用者調査（施設利用）

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考
回答者	現在の生活場所	◆	◆	◆	◆	
	入所施設の種類	—	—	—	◆	
	調査票の記入者	◆	◆	◆	◆	国必須設問
対象者属性	性別	F1	F1	F1	F1	
	年齢階層	F2	F2	F2	F2	
	居住地域	F3	—	廃止	—	廃止
	住居形態	—	—	廃止	—	廃止
	要介護度	—	—	4	10	
	認定を受けてからの期間、施設入所期間	—	—	5	F3	
家族や生活状況	家族構成	1(1)	1	F3	F4	国必須設問
	誰かの介護・介助を受けているか	1(2)	—	—	—	国必須設問
	暮らしの経済状況	1(3)	—	—	—	国必須設問
	身内の介護頻度	—	2	—	—	国必須設問
	主な介護者	—	3	F4	—	国OP設問
	主な介護者の性別	—	4	—	—	国OP設問
	主な介護者の年代	—	5	—	—	国必須設問
	介護内容	—	6	—	—	国OP設問
	親族の介護理由の勤務変更の状況	—	7	—	—	国必須設問
	利用している在宅サービス以外のサービス	—	8	—	—	国OP設問
	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	—	9	—	—	国OP設問
	施設への入所・入居の検討状況	—	10	—	—	国必須設問
	現在抱えている疾病	—	11	—	—	国OP設問
	訪診療利用の有無	—	12	—	—	国OP設問
介護保険サービス	介護保険サービス利用の有無	—	13	6	—	国OP設問
	利用していない人⇒利用していない理由	—	14	6-1	—	国OP設問
	介護保険サービスの認知状況・利用意向	—	—	廃止	—	廃止
	施設サービス入所申請の有無	—	—	7	—	
	地域密着型サービスの認知状況・利用意向	—	—	8	—	
	本人が今後生活するとよい場所	—	—	—	廃止	廃止
	施設利用料等の負担感	—	—	—	11	
	ケアマネジャーを評価する点	—	—	廃止	—	廃止
	介護サービス事業者を評価する点	—	—	廃止	—	廃止
主な介護者の状況	主な介護者の勤務形態	—	17	—	—	国必須設問
	働いている人⇒働き方の調整状況	—	18	—	—	国必須設問
	働いている人⇒仕事と介護の両立に効果のある支援	—	19	—	—	国OP設問
	働いている人⇒今後の介護継続の可能性	—	20	—	—	国必須設問
	介護生活で不安なこと	—	21	—	—	国必須設問
	主な介護者の介護に関する相談先の有無	—	22	—	—	新規

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考
からだを動かすこと	階段を手すりや壁をつたわらず昇るか	2(1)	—	—	—	国必須設問
	椅子から何もつかまらず立ち上がるか	2(2)	—	—	—	国必須設問
	15分位続けて歩いているか	2(3)	—	—	—	国必須設問
	過去1年間転んだ経験があるか	2(4)	—	—	—	国必須設問
	転倒に対する不安は大きいか	2(5)	—	—	—	国必須設問
	週1回以上外出しているか	2(6)	—	—	—	国必須設問
	昨年と比べて外出頻度が減っているか	2(7)	—	—	—	国必須設問
食べること	身長・体重	3(1)	—	—	—	国必須設問
	半年前より固いものが食べにくいか	3(2)	—	—	—	国必須設問
	お茶や汁物等でむせることがあるか	廃止	—	—	—	国OP、廃止
	口の渴きが気になるか	廃止	—	—	—	国OP、廃止
	歯の数と入れ歯の状況	3(3)	—	—	—	国必須設問
	半年間で2~3kg以上の体重減少の有無	廃止	—	—	—	国OP、廃止
	だれかと食事をともにする機会があるか	3(4)	—	—	—	国必須設問
毎日の生活	物忘れが多いと感じるか	4(1)	—	—	—	国必須設問
	自分で番号を調べて電話をかけるか	廃止	—	—	—	国OP、廃止
	今日の月日がわからない時があるか	廃止	—	—	—	国OP、廃止
	バスや電車で一人で外出しているか	4(2)	—	—	—	国必須設問
	自分で日用品等の買物をしているか	4(3)	—	—	—	国必須設問
	自分で食事の用意をしているか	4(4)	—	—	—	国必須設問
	自分で請求書の支払いをしているか	4(5)	—	—	—	国必須設問
	自分で預貯金の出し入れをしているか	4(6)	—	—	—	国必須設問
	友人の家を訪ねているか	4(7)	—	—	—	国OP設問
	家族や友人の相談のっているか	4(8)	—	—	—	国OP設問
	趣味はあるか	4(9)	—	—	—	国OP新規
	生きがいはあるか	4(10)	—	—	—	国OP新規
	スマホ等を用いたインターネット利用状況	4(11)	—	—	—	新規
	スマートフォンの所持状況	廃止	—	—	—	廃止
	スマホ所持⇒普段使っている機能	廃止	—	—	—	廃止
	スマホ所持⇒使えるようなりたい機能	廃止	—	—	—	廃止
の地域活動で	グループ等への参加頻度	5(1)	—	—	—	国必須設問
	住民有志のグループ活動への参加意向	5(2)	—	—	—	国必須設問
	住民有志のグループ活動への企画運営意向	5(3)	—	—	—	国必須設問
たすけあい	心配事や悩み事を聞いてくれる人	6(1)	—	—	—	国必須設問
	心配事や悩み事を聞いてあげる人	6(2)	—	—	—	国必須設問
	看病や世話をしてくれる人	6(3)	—	—	—	国必須設問
	看病や世話をしてあげる人	6(4)	—	—	—	国必須設問
健康	現在の健康状態	7(1)	—	—	—	国必須設問
	現在の幸福度	7(2)	—	2	9	国必須設問
	この1か月、気分が沈んだりしたか	7(3)	—	—	—	国必須設問
	この1か月、物事に興味がわかることがあったか	7(4)	—	—	—	国必須設問
	喫煙頻度	7(5)	—	—	—	国必須設問
	治療中や後遺症のある病気	7(6)	—	1	1	国必須設問
	日頃、孤独や不安を感じるか	7(7)	—	3	—	新規
	新型コロナウイルス感染拡大による孤立や孤独	廃止	—	廃止	—	廃止
	新型コロナウイルス感染拡大による影響	廃止	—	廃止	廃止	廃止

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考
認知症	かかりつけ医等の有無	7(8)	—	廃止	—	新規、廃止
	現在受けている医療処置	—	—	—	廃止	廃止
	かかりつけ医がいる人⇒選んだ理由	—	—	廃止	—	廃止
住まい	認知症の関心度	8(1)	—	—	—	
	本人・家族の認知症の症状の有無	8(2)	—	—	—	国必須設問
	認知症の症状有⇒居住場所、居住年数	廃止	—	—	—	廃止
	認知症に関する相談窓口の認知度	8(3)	—	—	—	国必須設問
	認知症の対策として必要なこと	8(4)	—	—	—	
	新しい認知症感の認知度	8(5)	15	—	—	新規
介護保険外サービス	認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて実現状況	8(6)	16	—	—	新規
	現在の住居の形態	廃止	—	—	—	廃止
	今後暮らす場所の希望状況	9(1)	—	19	—	
	施設入所を希望⇒今後の住まいとして選びたい条件	廃止	—	廃止	—	廃止
	在宅生活を続けるための高齢者福祉サービスの充実度	9(2)	—	20	—	新規
地域生活	在宅生活を続けるための条件	9(3)	—	21	—	
	地域包括支援センターの認知状況	10(1)	—	22	—	
	高齢者保健福祉サービスの利用意向	11(1)	—	23	—	
	配食サービスの利用状況	廃止	—	廃止	—	廃止
	配食サービスを利用している理由	廃止	—	—	—	廃止
	民間配食サービスを利用⇒1食あたり金額、頻度、特別食	—	—	廃止	—	廃止
	配食サービスを利用している理由	—	—	廃止	—	廃止
	配食サービスに望むもの	11(2)	—	24	—	選択肢変更
権利擁護	総合事業の利用の有無と満足度	廃止	—	—	—	廃止
	参加状況地域活動への参加程度	廃止	—	廃止	—	廃止
	地域活動に参加している⇒地域活動の内容	廃止	—	廃止	—	廃止
	今後地域活動に参加したい内容	廃止	—	廃止	—	廃止
	地域活動の環境や条件	廃止	—	廃止	—	廃止
	近所付き合い	12(1)	—	9	—	新規
	地域における居場所の有無自宅以外の居場所の有無	12(2)	—	10	—	
	どのような居場所があれば利用したいか	12(3)	—	11	—	
	有償ボランティアの利用意向	廃止	—	廃止	—	廃止
	有償ボランティア利用意向あり⇒利用したいサービス	廃止	—	廃止	—	廃止
成年後見制度	有償ボランティア利用意向なし⇒利用したくない理由	廃止	—	廃止	—	廃止
	一人暮らしの場合の見守り支援利用意向	12(4)	—	15	—	
	見守り支援の利用と負担の関係	12(5)	—	16	—	
	最期を迎える場所	12(6)	—	—	—	
	ACPの認知度	12(7)	—	12	—	設問変更
	受けたい終活サポート	12(8)	—	13	—	新規
	成年後見制度の認知度	12(9)	—	14	14	新規
	高齢者の権利擁護で知っている相談窓口	統合	—	統合	統合	相談を統合
	プライバシーへの配慮	—	—	—	廃止	廃止

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考
本人の気持ちや希望の尊重	本人の気持ちや希望の尊重	—	—	—	廃止	廃止
	動作制限の有無	—	—	—	廃止	廃止
	動作制限あり⇒制限の説明	—	—	—	廃止	廃止
	施設で本人のからだの動作の制限の有無	—	—	—	廃止	廃止
	世帯における困りごと	12(10)	—	17	—	
	暮らしあや福祉についての困りごとの相談先	12(11)	—	18	13	
就労意向	収入のある就労の有無	13(1)	—	—	—	
	就労意欲あり⇒どのような形で働きたいか	13(2)	—	—	—	
	仕事をする1番の理由	13(3)	—	—	—	新規
	就労につながるために受けたいサポート	13(4)	—	—	—	新規
対災害応	災害発生時の不安や心配事	14(1)	—	25	—	
	避難所で配慮してほしいこと	廃止	—	廃止	—	廃止
施設前入	入所施設が希望のものか	—	—	—	2	
	入所までの期間	—	—	—	3	
	入所前の住まい・施設	—	—	—	4	
施設での生活	現在の部屋の種類	—	—	—	5	
	今後生活したい部屋と経済的負担	—	—	—	6	
	入所時の重要事項の説明の有無	—	—	—	廃止	廃止
	サービスについての説明の有無	—	—	—	7	
	サービスの提案の有無	—	—	—	8	
	施設でのサービスの改善効果	—	—	—	廃止	廃止
	現在の施設に入所して良かったこと	—	—	—	廃止	廃止
	現在のサービスの満足度	—	—	—	廃止	廃止
	現在のサービスに不満⇒不満の理由	—	—	—	廃止	廃止
市への要望	市が優先して取り組む保健福祉サービス	15(1)	—	26	—	選択肢整合
	介護保険制度をよくするために必要なこと	—	—	27	12	
	誰もがいきいきと暮らすことのできるまちへの考え方	15(2)	—	28	15	
	理念実現的回答⇒そう考える理由	廃止	—	廃止	—	廃止
	小金井市に住み続けたいかの意向	15(3)	—	29	16	
	知りたい情報や制度	15(4)	—	—	—	
	意見・要望等<自由回答>	15(5)	—	30	17	
	退所後の希望先	—	—	—	廃止	廃止
	介護支援策として必要なこと	—	—	—	16	

※今後、国より質問項目が追加・変更される場合があります。

5. 事業者調査

分類	事業所調査の設問	問番	備考
事業所属性	活動状況（組織形態）	1	
	活動状況（主な事業の種類）	2	
	活動状況（併設する事業の種類）	2	
	年齢階級別職員数の状況	—	廃止
	職員の資格取得の状況	—	廃止
居宅介護支援事業者	ケアプランの給付管理件数	—	廃止
	市内で活動するケアマネジャーの人数	—	廃止
	ケアマネジャーの在職年数、1年間の離職者数、離職率、理由	—	廃止
	予防プランの受託状況	—	廃止
	予防プラン受託していない⇒理由	—	廃止
ビス施設事業系サーサー	入所者の退所状況	—	廃止
	退所理由別人数	—	廃止
	退所先	—	廃止
	退所があった場合の次の入所者がすぐ見つかるか	—	廃止
	断られた場合の理由	—	廃止
サービス提供事業者	市内の利用者数	—	廃止
	昨年1年間の職員離職状況	—	廃止
	事業所の職員の平均在職年数	—	廃止
	昨年1年間の離職者数及び離職率	—	廃止
	離職の理由（主な理由）	—	廃止
	外国人材活用意向	—	廃止
	元気高齢者の活用意向	—	廃止
	介護保険以外のサービス提供の有無	3	
	提供している場合、具体的なサービス内容	3-1	
	今後の介護保険以外のサービス提供	4	
	提供する予定の場合、具体的なサービス内容	4-1	
	現在、事業所で力を入れていること	—	廃止
	今後、事業所で力を入れたいこと	—	廃止
	自立支援・重度化防止への取組	—	廃止
	予定がある事業所、具体的なサービス内容	—	廃止
向質上の	質の向上に対する取組み	5	
	第三者評価の実施なし⇒今後の実施予定	5-1	
	第三者評価の実施予定がない⇒ない理由	5-2	
事業運営	直近決算年度の採算状況	6	
	今後3年間の事業規模	7	
	介護職員処遇改善加算の活用	—	廃止
	介護職員処遇改善加算活用している⇒使用状況、金額	—	廃止
	重要だと思う労働環境整備	8	
	事務作業負担感の程度	9	
	生産性向上の取組	10	
	介護ロボットやAIの活用予定	—	廃止
	介護ロボットやAIの活用予定なし⇒活用しない理由	—	廃止
	運営上に必要な人材の確保状況	11	新規
	人材対策の方向性	12	
	人材確保のために必要な取組み	13	
	事業所内での講習会・研修の実施状況	14	

分類	事業所調査の設問	問番	備考
医療と介護の連携	研修会、勉強会等に積極的に参加できるような支援の有無	15	
	地域密着型事業への参入意向	一	廃止
	24時間の見守りや巡回が必要な利用者の有無	一	廃止
	運営上の課題	16	
	利用者からの信頼を得るために必要なこと	一	廃止
認知症の介護支援	在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくり	17	
	地域の人材育成	一	廃止
	サービス・基盤整備	一	廃止
	相談支援・情報提供	一	廃止
	医療・介護の連携状況	18	
	医療・介護連携していない⇒不十分の理由	18-1	
	利用者の医学的情報の把握状況	19	
災害体制時の支援	かかりつけ医との連携がとりにくい理由	20	
	認知症の症状で実際に大変だったこと	21	
	認知症支援に必要なこと	22	
	認知症ケアの地域拠点としての機能	23	
市へのその他要望	認知症の理解を促進するための普及・啓発活動の内容	23-1	新規
	認知症支援におけるかかりつけ医との連携状況	24	
	「新しい認知症観」の認知度	25	新規
	「新しい認知症観」を広めるために必要な取組	26	新規
	BCPの作成状況	一	廃止
事業者として市に望むこと	新型コロナウイルス感染拡大の影響	一	廃止
	災害時に備えた地域との連携	一	廃止
	支援金等についての申請の有無	27	
意見・要望等<自由回答>	地域ケア会議の認知度	一	廃止
	事業者として市に望むこと	一	廃止
	法人名・事業所名・所在地・回答者	28	
	事業所の名称及び所在地	29	
		30	

6. ケアマネジャー調査

分類	ケアマネジャー調査の設問	問番	備考
属性	所属事業所の組織体	一	廃止
	所属事業所の組織形態	一	廃止
	性別	1	
	年代	2	
勤務形態	勤務形態	一	廃止
	兼務の人⇒兼務している業務	一	廃止
	経験年数（付問 小金井市での経験年数）	一	廃止
	介護支援専門員以外に所持している保健医療福祉関係の資格	一	廃止
	1週間の実際の勤務時間	一	廃止
	45時間以上の人⇒1ヶ月の超過勤務時間	3	
	45時間未満の人⇒生産性向上への取組	一	廃止
	負担のある業務	4	
	負担業務あり⇒事務作業の負担感	一	廃止
	ケアマネジャーの継続に必要な改善事項	5	
ケアマネジメントの状況	ケアプランの給付管理件数	一	廃止
	ケアプランの作成にかかわる人	6	
	ケアプラン作成が困難だったケースの頻度	7	
	ケアプラン作成困難ケースあり⇒ケースの内容	7-1	
	ケアプラン作成困難ケースあり⇒ケースの相談先	7-2	
	新型コロナウイルス感染拡大に伴う課題	一	廃止
アセスメント状況の実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響による心身の変化	一	廃止
	アセスメント実施で難しいと感じること	8	
	1回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間	9	
	全てのケースにサービス担当者会議の実施の有無	一	廃止
	サービス担当者会議へのかかりつけ医の参加	一	廃止
	かかりつけ医が参加していない⇒その理由	一	廃止
	サービス担当者会議への利用者家族の参加	一	廃止
	利用者家族が参加していない⇒その理由	一	廃止
体制	サービス担当者会議を開催できない⇒その理由	一	廃止
	量的に不足していると感じるサービス	10	
	介護保険以外のサービス等を組み入れたケアプランの作成	11	
	ケアプランを作成する際に検討したことがあるサービス	11-1	
	在宅生活を支えるために充実が必要と感じる生活支援	12	廃止
	充実が必要と思う高齢者保健福祉サービス	13	
	配食サービスに望むもの	14	
	AIでのケアプラン作成意向	一	廃止
入所	地域ケア会議の認知度	一	廃止
	施設等を勧めた居宅介護の件数	15	
	施設等を勧めた世帯構成	15-1	
在宅医療の支援	往診が必要な利用者の有無及び人数	16	
	往診いる⇒訪問診療の提供充足度	16-1	
	十分な往診なし⇒訪問診療が提供できていない理由	16-2	
	訪問診療が必要な利用者の有無	17	
	訪問診療いる⇒訪問診療の提供充足度	17-1	
	十分な訪問診療なし⇒訪問診療が提供できていない理由	17-2	
	訪問看護や訪問歯科診療等が必要な利用者の有無	18	

分類	ケアマネジャー調査の設問	問番	備考
医療・介護の連携	在宅療養高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行	19	
	医療と在宅ケアの関係で苦労していること	20	
	在宅医療を進めていくうえで不足している機能	21	
	在宅介護の限界、施設入所を意識する要因	22	
認知症の介護支援	医療と介護の連携のための情報の共有化	23	
	市の担当者との連携	24	
	在宅療養者への医療・介護は連携していると思うか	25	
	在宅医療と介護の円滑な連携に必要なこと	26	
	地域の人材育成	一	廃止
	サービス・基盤整備	一	廃止
	相談支援・情報提供	一	廃止
ケアマネジメントの質の向上	担当する認知症の方の状況で、実際に大変だった事例	27	
	認知症の人の支援のための、かかりつけ医との連携状況	28	
	認知症の人の支援のための、かかりつけ医との連携手段	一	廃止
	認知症の早期受診が進まない原因	29	
	認知症の人の支援に必要なこと	30	
	「新しい認知症観」の認知度	31	新規
	「新しい認知症観」を広めるために必要な取組	32	新規
虐待の市役所へ	サービスの質の向上に向けた研修への参加	33	
	参加した研修の内容	一	廃止
	研修で取り上げてほしい内容	一	廃止
	事業所内での定例的な研修・勉強会の有無	34	
	地域包括支援センターとのつながり	35	
	地域包括支援センターに期待すること	36	
	中立性・独立性を確保するために必要な支援	37	
虐待	虐待の場面に遭遇したり相談を受けた経験	38	
	虐待を未然に防ぐために必要なこと	39	
	介護保険制度をよりよくするために必要なこと	40	
	人材育成等に関して市に支援して欲しいこと	41	
	意見・要望等<自由回答>	42	

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画 策定スケジュール

資料2参考

	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 体 会				事業評価 認知症計画等			アンケート 調査票 (案) 協議					アンケート調査 結果報告
計 画 策 定 委 員 会					アンケート 項目協議							開催未定
認 知 症 施 策 事 業 推 進 委 員 会						アンケート 項目協議						いずれかの月に開催
ア ン ケ ー ト 調 査								アンケート 実施	アンケート集計			
ア ン ケ ー ト 調 査 (在宅介護実態調査)												

	令和8年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 体 会	いずれかの月に開催 ・事業評価 ・計画体系 協議						計画(案) 協議			いずれかの月に開催 ・パブリックコメント等報告 ・計画(案) 協議など		
計 画 策 定 委 員 会				3回程度開催予定 介護保険事業計画各章協議予定								
認 知 症 施 策 事 業 推 進 委 員 会							開催回数、日程 未定					
パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト 市 民 説 明 会									パブリックコメント 市民説明会			



高齢の方のためのアンケート調査に ご協力をお願いいたします

市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これから的小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。

対象者

一般高齢者、要支援認定者、総合事業対象者の中から無作為に選ばれた方

回答期間

令和7年11月1日（土）～令和7年11月21日（金）まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。

スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

WEB



小金井市ホームページから
トップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>●●…

<https://sample.webcas.com/sample/sample>

QRコード



確認番号：123456

① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。

② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。



郵送

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

認知症について

あなたは、「認知症」にどの程度関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 4. まったく関心がない |
| 2. まあまあ関心がある | 5. 初めて聞いた |
| 3. あまり関心がない | |

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

もし、自分や家族が認知症になったときに、もしくは心配な症状が見られるようになったときに、認知症の対策として必要だと思うことはなんですか。

(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 認知症に関する知識を得る機会 | 6. 自宅でも安心して生活できる訪問支援 |
| 2. 地域住民の理解・サポート | 7. 認知症の方が安心して入所できる施設や住まい |
| 3. 認知症のことを相談できる窓口 | 8. 早期に検診を受診または、医療機関への受診 |
| 4. 認知症の方同士での交流の場 | 9. その他〔具体的に：〕 |
| 5. 家族介護者同士の情報交換や交流の場 | 10. 特にない |

「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 内容を含めて知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない |
| 3. 知らない |

※ 新しい認知症観：認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などとつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて、以下のことが地域において実現できていると思いますか。(いくつでも○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 「新しい認知症観」について理解していること |
| 2. 認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること |
| 3. 認知症の人に自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること |
| 4. 認知症の人が地域で役割を果たしていること |
| 5. 認知症の人が自分らしく暮らすこと |
| 6. その他() |
| 7. わからない |

2 在宅介護実態調査

「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

- 1. 内容を含めて知っている
- 2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
- 3. 知らない

※ 新しい認知症観：認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などとつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて、以下のことが地域において実現できていると思いますか。(いくつでも○)

- 1. 「新しい認知症観」について理解していること
- 2. 認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること
- 3. 認知症の人に自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること
- 4. 認知症の人が地域で役割を果たしていること
- 5. 認知症の人が自分らしく暮らすこと
- 6. その他()
- 7. わからない

5 介護保険サービス提供事業者調査

認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。

(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 本人や家族が医療機関を受診しない | 7. 適切なサービスが受けられない |
| 2. 本人の意思の確認が取れない | 8. 消費者被害に遭遇している |
| 3. 家族が認知症であることを認めない | 9. 虐待を受けている |
| 4. 服薬管理ができない | 10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う |
| 5. サービス拒否がある | 11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい |
| 6. 症状が急変して緊急対応が必要になる | 12. その他〔具体的に：〕 |

これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。

(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1. 状態に応じた適切なサービス提供の内容が示されること |
| 2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと |
| 3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと |
| 4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること |
| 5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること |
| 6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと |
| 7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること |
| 8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと |
| 9. その他〔具体的に：〕 |

貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(いくつでも○)

- 1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施
- 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動
- 3. 地域の見守りネットワークへの参画
- 4. 認知症の方の家族への相談支援
- 5. ボランティア組織への支援
- 6. 在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介
- 7. 在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供
- 8. その他〔具体的に：〕
- 9. 特にない

上の問で「2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動」と答えた事業所におたずねします。
具体的にどのような活動を行っていますか。(いくつでも○)

- 1. サポーター養成研修の実施
- 2. 認知症カフェの実施
- 3. 講習会の開催等学習機会の提供
- 4. 地域住民の活動の支援
- 5. その他
〔具体的に：〕

貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

- 1. とれている
- 2. ある程度とれている
- 3. あまりとれていない
- 4. とれていない

「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

- 1. 内容を含めて知っている
- 2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
- 3. 知らない

「新しい認知症観」とは、認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などとつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。
(いくつでも○)

1. 認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化
2. 医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及
3. 認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用
4. 認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組
5. ピアサポート活動等の当事者の声を反映する活動
6. その他 ()

6 ケアマネジャー調査

認知症の介護支援についておたずねします

担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。

(いくつでも○)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の意思の確認が取れない
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 服薬管理ができない
5. サービス拒否がある
6. 症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 適切なサービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇している
9. 虐待を受けている
10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う
11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい
12. その他〔具体的に：〕

認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。
(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分連携している | 3. 連携が不十分である |
| 2. ある程度連携している | 4. ほとんど連携していない |

認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思いますか。(いくつでも○)

- 1. 認知症を診断できる医師が少ない
- 2. 認知症が病気であると認識されていないこと
- 3. 本人が受診を嫌がること
- 4. 認知症と診断されるのを恐れています
- 5. 家族や周囲の人々が本人のプライドを傷つけるため言いにくいくこと
- 6. 家族が認知症の認識がないこと
- 7. どこに受診すればよいかわからないこと
- 8. その他〔具体的に:]

これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。
(いくつでも○)

- 1. 状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること
- 2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと
- 3. 早期診断を担う医療機関が増えていること
- 4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
- 5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること
- 6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと
- 7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること
- 8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと
- 9. その他〔具体的に:]

「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

- 1. 内容を含めて知っている
- 2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
- 3. 知らない

※新しい認知症観とは、認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になつてからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などとつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。
(いくつでも○)

1. 認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化
2. 医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及
3. 認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用
4. 認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組
5. ピアサポート活動等の当事者の声を反映する活動
6. その他 ()

令和6年度における認知症関連事業の実施実績

No.	項目	目標値 ^{*1}	実施内容	達成 ^{*2} 度合	成果 ^{*3}	備考欄
1	認知症地域支援推進員連絡会	月1回実施	○各地域包括支援センターに推進員を配置。市と推進員とで月に1回認知症関連事業に関する協議を行う。 ○相談窓口の認知度向上へ向けた検討を行う。	A	○市と推進員とで情報共有、各種事業の検討を行っている。 ○4月から毎月対面またはWebにて開催した。	
2	認知症地域支援推進員連絡会ワーキンググループ	月1回実施	○推進員同士が月に1回認知症関連事業に関する協議を行う。 ○相談窓口の認知度向上へ向けた検討を行う。	A	○推進員同士の情報共有、各種事業の検討を行っている。 ○4月から毎月対面にて開催した。	
3	認知症施策事業推進委員会	年2回実施	○認知症の方本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、その家族が安心できるよう、引き続き認知症施策について、検討・推進する。	A	○第1回：令和6年6月12日（Web及び対面） ○第2回：令和7年2月28日（Web及び対面）	
4	認知症連携会議	年1回実施	○事例検討等を交えた多職種の連携強化を図る研修等を実施する。	A	○実施日：令和7年3月21日（Web開催） ○内容：認知症に関する多職種連携事例等の検討 ○参加者数：30人	
5	認知症検診	受診率 近隣他市同等	○認知症に関する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、早期発見・早期対応を図る。	A	○実施期間：（70～74歳）令和6年6月3日～令和6年12月27日、（75～79歳）令和6年9月2日～令和7年3月31日 ○検診実施機関数：17医療機関 ○受診数：27人 ○受診券等送付数：11,557通 ○受診率：0.23%	
6	認知症初期集中支援事業	相談件数 年3件	○認知症が疑われるものの医療等の支援を受けていない市民を対象に、専門職によるチームで訪問し、支援を行う。	A	○3件	
7	認知症サポーター養成講座	令和6年度目標 10,000人 ↓ 令和6年度中824人 増 累計10,112人	○認知症について正しく理解し、出来る範囲で支援する「認知症サポーター」の養成講座を実施する。	A	○参加者数：824人 (内訳はNo.8～No.12のとおり)	
8	市民向け（定期開催）	年3回実施 (30人)	○高齢者の介護を担う世代へ向けての取組を検討していく。	A	○第1回：6月1日 14人 ○第2回：9月13日 15人 ○第3回：2月14日 14人	
9	ステップアップ講座	年1回実施	○受講後の受講者活用に向けた検討を行う。	A	○3月14日 22人	
10	キッズ認サボ	5校 (500人)	○既存の実施校に加え、受入先増加へ向けた調整を行う。	A	○東 小： 9月20日 126人 ○緑 小： 9月27日 117人 ○南 中： 11月20日 141人 ○三 小： 1月18日 137人 ○二 小： 1月31日 113人	
11	市職員向け	年2回実施 (40人)	○未受講者へ向けたアプローチを行う。	A	○第1回：8月30日 45人 ○第2回：1月17日 28人	
12	その他	80人	○高齢者の見守り協定を締結済みの事業者等の受講に向けたアプローチを行う。	B	○住民（4回分）： 40人 ○企業・団体（1回分）： 13人 ○医療・介護事業所等（1回分）： 21人	

No.	項目	目標値 ^{*1}	実施内容	達成 ^{*2} 度合	成果 ^{*3}	備考欄
1 3	認知症講演会	年1回実施	○市民への普及啓発事業について検討を行う。	A	○実施日：令和6年11月13日（お元気サミット介護みらいフェス） ○内容：映画「オレンジ・ランプ」上映会・家族会交流会 ○参加者数：75人	
1 4	やすらぎ支援事業	訪問回数 100回	○軽度の認知症状がある高齢者にボランティアが訪問し、話し相手、声掛け等の援助を行う。 ○支援員の交流会を行う。	B	○やすらぎ支援連絡会：（第1回）5月28日、 ○支援員数：4人 ○利用者数：7人 ○訪問数：48回（電話による傾聴23回を含む。）	
1 5	家族介護継続支援事業	参加者数 (115人)	○認知症高齢者を介護する家族に対する交流会や講習等の機会を設け、情報共有や身体的・精神的負担軽減を図る事業を実施する。	A	○参加者数 129人 (内訳はNo.16～No.18のとおり)	
1 6	まなぶ・語る・つながる ～家族の会～	参加者数 (30人)	○ひがし地域包括支援センターへの委託事業 ○偶数月の第2土曜日に実施する。	A	○第1回：4月13日 12人 ○第2回：6月15日 10人 ○第3回：8月17日 7人 ○第4回：10月19日 8人 ○第5回：12月21日 7人 ○第6回：2月15日 7人	
1 7	認知症家族の集い	参加者数 (25人)	○緑寿園ケアセンターへの委託事業 ○年5回実施する。	B	○第1回：5月11日 4人 ○第2回：7月6日 1人 ○第3回：10月5日 2人 ○第4回：12月7日 3人 ○第5回：3月1日 5人	
1 8	認知症高齢者を支える家族の集い	参加者数 (60人)	○本町高齢者在宅サービスセンターへの委託事業 ○毎月第1土曜に実施する。	A	○第1回：4月6日 3人 ○第2回：5月11日 2人 ○第3回：6月15日 2人 ○第4回：7月13日 7人 ○第5回：8月3日 2人 ○第6回：9月7日 2人 ○第7回：10月5日 15人 ○第8回：11月2日 2人 ○第9回：12月7日 3人 ○第10回：1月4日 2人 ○第11回：2月1日 18人 ○第12回：3月1日 5人	
1 9	家族介護継続支援事業担当者連絡会	年2回実施	○上記3事業の担当者連絡会を開催	A	○第1回：6月25日 ○第2回：3月10日	
2 0	認知症チェックシステム	アクセス数 4,500件	○早期発見及び普及啓発を図るために、認知症の初期スクリーニングシステムを運用する。 ○市報等に掲載し、周知を図る。	A	○アクセス数：13,108件	
2 1	見守りシール事業	令和6年度中 2人増	○市報、ホームページ等により周知を図る。 ○搜索模擬訓練を行う。	A	○搜索模擬訓練実施数：3回（貫井けやき公園3回、梶野公園減災フェスタ20241回、2024梶野公園まつり1回） ○新規登録者数：2人 ○アプリ登録者数：5,299人	
2 2	徘徊高齢者探索サービス	前年度増	○市報、ホームページ等により周知を図る。	A	令和6年度新規利用者数：2人 令和7年2月25日現在利用者数：7人	

No.	項目	目標値 ^{*1}	実施内容	達成 ^{*2} 度合	成果 ^{*3}	備考欄
23	認知症カフェ	令和8年度 11か所	○各圏域ごとに実施する。	A	○きた「桜町オレンジカフェ」 第1回：4月20日 33人 第2回：5月18日 31人 第3回：6月15日 31人 第4回：7月20日 32人 第5回：8月 日 開催なし 第6回：9月26日 28人 第7回：10月19日 21人 第8回：11月16日 33人 第9回：12月14日 35人 第10回：1月18日 27人 第11回：2月15日 26人 第12回：3月15日 19人 ○さとう「さとう町オレンジカフェ」 第1回：12月26日 5人 第2回：1月30日 4人 第3回：2月28日 21人 第4回：3月28日 14人 ○みなみ「にしの台カフェ」 第1回：5月28日 9人 第2回：7月23日 11人 第3回：9月24日 8人 第4回：11月26日 7人 第5回：1月28日 6人 第6回：3月25日 9人 ○みなみ「貴井住宅カフェ」 第1回：4月23日 18人 第2回：6月25日 17人 第3回：8月27日 13人 第4回：10月29日 11人 第5回：12月24日 8人 第6回：2月25日 9人 ○にし「カフェけやき」 第1回：7月10日 20人 第2回：9月11日 16人 第3回：9月9日 11人 第4回：11月8日 19人 第5回：12月11日 13人 第6回：1月8日 11人 第7回：2月12日 17人 第8回：3月12日 11人 ○ひがし「なごみカフェ」 第1回：6月26日 12人 第2回：9月25日 9人 第3回：12月25日 17人 第4回：3月26日 12人 ○ひがし「ひだまりカフェ」 第1回：4月27日 11人 第2回：5月25日 8人 第3回：6月22日 12人 第4回：7月27日 10人 第5回：8月24日 8人 第6回：9月28日 11人 第7回：10月26日 10人 第8回：11月16日 10人 第9回：12月21日 10人 第10回：1月25日 8人 第11回：2月22日 11人 第12回：3月22日 9人	
	認知症カフェ		○各圏域ごとに実施する。			
		年24回実施				

No.	項目	目標値 ^{*1}	実施内容	達成 ^{*2} 度合	成果 ^{*3}	備考欄
24	認知症予防通いの場	年2回実施	○認知症検診受診者の受け皿として、認知症予防、居場所づくりの場として開催をしていく。	A	○第1回：7月8日 15人 ○第2回：11月22日 9人	
25	チームオレンジの施行実施	1か所	○けやきの杜認知症カフェ（社）にてチームオレンジの施行実施を行い、課題の抽出と、令和7年度からの本格実施に向けた整理を図る。（市内4か所の認知症カフェで設置予定）	A	○にし「カフェやき」 第1回：7月10日 20人 第2回：9月11日 16人 第3回：10月9日 11人 第4回：11月8日 19人 第5回：12月11日 13人 第6回：1月8日 11人 第7回：2月12日 17人 第8回：3月12日 11人	
26	一体的支援の実施	年4回	○本人・家族がともに活動する時間を設け、他の家族や地域との交流を行う一體的支援事業を実施する。チームオレンジ（認知症カフェ）と一体的支援事業の両方を、本人・家族とボランティアが行き来できる相互関係の構築を目指す。	A	○第1回：10月14日 本人・家族等 8人、サポーター1人 ○第2回：11月11日 本人・家族等 7人、サポーター0人 ○第3回：12月9日 本人・家族等 11人、サポーター0人 ○第4回：1月13日 本人・家族等 8人、サポーター0人	
27	キャラバン・メイト連絡会の実施	年1回実施	○市内キャラバンメイトの連絡会を実施し、各種諸問題の抽出・検討と、今後より一層重要な認知症サポーターの養成の推進を図る。	A	○第1回：1月27日 キャラバン・メイト 9人	
28	研修・その他	—	○適宜研修等に参加する。 ○世界アルツハイマーデーに合わせた展示等を行っていく。	—	○世界アルツハイマーデーに合わせた展示 第二庁舎：9月2日～9月12日 本庁舎：9月13日～9月24日 図書館：9月13日～9月24日 ○お元気サミット・介護みらいフェス 小金井宮地楽器ホール ：11月13日・14日	

*1 は、第9期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画で示す目標値

は、市にて単年度目標として設定した目標値

*2 「A」：目標値を達成している。

「B」：目標値を達成していないが、事業は進捗している。

「C」：目標値を達成しておらず、事業進捗が見られない。

*3 特段の記載がない場合は令和7年3月31日現在における成果（実施日等は予定を含む。）

令和 7 年度における認知症関連事業の実施予定

No.	項目	目標値 ^{※1}	実施内容
1	認知症地域支援推進員連絡会	月 1 回実施	○各地域包括支援センターに推進員を配置。市と推進員とで月に 1 回認知症関連事業に関する協議を行う。 ○相談窓口の認知度向上へ向けた検討を行う。
2	認知症地域支援推進員連絡会ワーキンググループ	月 1 回実施	○推進員同士が月に 1 回認知症関連事業に関する協議を行う。 ○相談窓口の認知度向上へ向けた検討を行う。
3	認知症施策事業推進委員会	年 2 回実施	○認知症の方本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、その家族が安心できるよう、引き続き認知症施策について、検討・推進する。
4	認知症連携会議	年 1 回実施	○事例検討等を交えた多職種の連携強化を図る研修等を実施する。
5	認知症検診	受診率 近隣他市同等	○認知症に関する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、早期発見・早期対応を図る。
6	認知症初期集中支援事業	相談件数 年 3 件	○認知症が疑われるものの医療等の支援を受けていない市民を対象に、専門職によるチームで訪問し、支援を行う。
7	認知症サポーター養成講座	令和 8 年度 11,000 人 ↓ 令和 7 年度 前年度増	○認知症について正しく理解し、出来る範囲で支援する「認知症サポーター」の養成講座を実施する。
8	市民向け（定期開催）	年 3 回実施 (30 人)	○高齢者の介護を担う世代へ向けての取組を検討していく。
9	ステップアップ講座	年 1 回実施	○受講後の受講者活用に向けた検討を行う。
10	キッズ認サポ	5 校 (500 人)	○既存の実施校に加え、受入先増加へ向けた調整を行う。
11	市職員向け	年 2 回実施 (40 人)	○未受講者へ向けたアプローチを行う。
12	その他	80 人	○高齢者の見守り協定を締結済みの事業者等の受講に向けたアプローチを行う。
13	認知症講演会	年 1 回実施	○市民への普及啓発事業について検討を行う。
14	やすらぎ支援事業	訪問回数 100 回	○軽度の認知症状がある高齢者にボランティアが訪問し、話し相手、声掛け等の援助を行う。 ○支援員の交流会を行う。

No.	項目	目標値 ^{※1}	実施内容
15	家族介護継続支援事業	参加者数 (115人)	○認知症高齢者を介護する家族に対する交流会や講習等の機会を設け、情報共有や身体的・精神的負担軽減を図る事業を実施する。
16	まなぶ・語る・つながる～家族の会～	参加者数 (30人)	○ひがし地域包括支援センターへの委託事業 ○偶数月の第2土曜日に実施する。
17	認知症家族の集い	参加者数 (25人)	○株式会社土屋への委託事業 ○年3回実施する。
18	認知症高齢者を支える家族の集い	参加者数 (60人)	○本町高齢者在宅サービスセンターへの委託事業 ○毎月第1土曜に実施する。
19	家族介護継続支援事業担当者連絡会	年2回実施	○上記3事業の担当者連絡会を開催
20	認知症チェックシステム	アクセス数 4,500件	○早期発見及び普及啓発を図るため、認知症の初期スクリーニングシステムを運用する。 ○市報等に掲載し、周知を図る。
21	見守りシール事業	令和7年度中 2人増	○市報、ホームページ等により周知を図る。 ○検索模擬訓練を行う。
22	徘徊高齢者探索サービス	前年度増	○市報、ホームページ等により周知を図る。
23	認知症カフェ	令和8年度 11か所 ↓ 年24回実施	○各圏域ごとに実施する。
24	認知症予防通いの場	年2回実施	○認知症検診受診者の受け皿として、認知症予防、居場所づくりの場として開催をしていく。
25	チームオレンジの設置	4か所	○令和7年度中にチームオレンジを小金井市内4か所の認知症カフェで設置する。
26	一体的支援の実施	年4回	○本人・家族とともに活動する時間を設け、他の家族や地域との交流を行う一体的支援事業を実施する。チームオレンジ（認知症カフェ）と一体的支援事業の両方を、本人・家族とボランティアが行き来できる相互関係の構築を目指す。
27	キャラバンメイト連絡会の実施	年1回実施	○市内キャラバンメイトの連絡会を実施し、各種諸問題の抽出・検討と、今後より一層重要な認知症サポーターの養成の推進を図る。
28	認知症ボランティア養成講座	年1回実施	○認知症当事者と家族介護者について理解を深め、認知症カフェやチームオレンジで活動するボランティアを養成する講座を実施する。
29	研修・その他	—	○適宜研修等に参加する。 ○認知症の日に合わせた展示等を行っていく。

※1 は、第9期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画で示す目標値

 は、市にて単年度目標として設定した目標値

チームオレンジの設置について

1 概要

認知症施策大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議）により、令和7年度までに設置が求められている「チームオレンジ」について、令和6年度中ににし圏域の認知症カフェ「カフェけやき」にて施行設置し、活動内容の精査、予算及び運営にかかる課題等の確認を行った。活動内容については概ね従来の認知症カフェと同様で問題ないものの、チームオレンジの3つの基本のうち「③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援できる」ことを目指し、現在のイベント性を前面に出した認知症カフェについては、より気軽に話ができるよう、その内容や時間配分等も含め工夫が必要であることが分かった。また、活動のなかで陶芸を実施したところ、参加者同士が強制されることなく自分のペースで会話をする様子が見られ、手作業をしながらコミュニケーションをとる意義が見いだされた。

カフェけやきについては、約1年間の施行設置を経て令和7年度から本格的に設置となつたが、他3圏域については、上記課題等の検討を行いながら調整し、令和7年度中に「チームオレンジ」として本格設置をめざす。

2 チームオレンジについて

「認知症サポーターの量的な拡大を図ることに加え、今後は養成するだけでなく、できる範囲で手助けを行うという活動の任意性は維持しつつ、ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（「チームオレンジ」）を地域ごとに構築する。」（認知症施策大綱）

チームオレンジの3つの基本として、

- ① （認知症サポーター）ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている
- ② 認知症の人もチームの一員として参加している（認知症の人の社会参加）
- ③ 認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援できる
が挙げられている。

3 主な取り組み状況

(1) 平成 26 年度から

ステップアップ（旧フォローアップ）講座の実施

(2) 令和 4 年度

ア 認知症本人と家族の一体的支援プログラムの開始

イ 「小金井市チームオレンジ設置に向けた基本的な考え方」の策定

(3) 令和 6 年度

チームオレンジの試行設置

(4) 令和 7 年度

ア にし圏域の認知症カフェ「カフェけやき」で本格設置

イ 他 3 圏域の認知症カフェで設置に向け調整→令和 7 年度中に本格設置

4 試行設置概要（参考）

(1) 場所

本町けやきの杜（特別養護老人ホーム、認知症グループホーム併設）

本町 4-7-1

(2) 日常生活圏域

小金井にし地域包括支援センター圏域

(3) 内容

ア 本町けやきの杜内の地域交流スペースを利用し、認知症カフェを新設。

イ 同カフェに、チームオレンジ設置の際に必要となるリーダーとして、認知症コーディネーターの市担当者を、サブリーダーとして地域包括支援センターの認知症地域支援推進員を、チーム員として、ステップアップ講座修了者を配置する。

ウ 当事者や家族については、地域住民のほか、グループホーム入居者の参加が可能か調整する。

エ ステップアップ講座修了者の参加については、介護支援ボランティアポイント（生き生きボラポ）の活動対象として、希望者にポイントを付与する。

(4) 開設時期

令和 6 年 7 ~ 9 月 プレ開催

令和 7 年 5 月 オレンジカフェとして設置

認知症講演会（普及啓発）について

- 1 令和 7 年度認知症講演会（普及啓発）について
市主催の地域包括ケアシステム普及啓発イベントであるお元気サミットにて認知症講演会（普及啓発）を行う。
(1) 日時 令和 7 年 1 月 13 日（木）午前 10 時より
「仲間と楽しく学ぼう『認知症の歩き方』」
内容 認知症のある人が生きる世界を体験、理解し、対話を通じ認知症のある人の生活環境を改善するためのスキルアップを学ぶ。
(2) 会場 小金井 宮地楽器ホール 小ホール（最大 150 席収容）
- 2 お元気サミットについて
お元気サミットの来場者数や属性については、別紙「令和 6 年度お元気サミット・介護みらいフェスアンケート集計結果」参照

3 過去の認知症講演会（普及啓発）内容

年度	テーマ	講師（敬称略）
H 26	認知症の理解と対応	杏林大学医学部付属病院 長谷川 浩
H 27	知って得する！認知症の話	杏林大学医学部付属病院 長谷川 浩
H 28	・東京都認知症疾患医療センターについて ・地域の入院施設について	・桜町病院 寺田 久子 ・武藏野中央病院 牧野 栄一郎
H 29	・若年性認知症 ・認知症って何ですか？	・若年性認知症総合支援センター 来島 みのり ・樋口 直美（当事者）
H 30	今までの生き方を続けるために	株 LYXIS 飯塚 裕久
R 1*	認知症とともに生きる ～認知症になつたら終わりなんて言わせない～	丹野 智文（当事者）
R 4	認知症講演会	のぞみメモリークリニック 木之下 徹
R 5	・シンポジウム「知って安心！小金井の認知症施策」 ・パネルディスカッション「“商業活性化”福祉への挑戦」	・認知症疾患医療センター ・介護事業者 ・商工会関係者 ほか
R 6	映画「オレンジランプ」上映会 家族交流会	

*令和元年度（テーマ決定後）、令和 2 年度・令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

令和6年度お元気サミット・介護みらいフェスアンケート集計結果

問1

●年齢

選択肢	人数	回答率
20歳未満	0	0.00%
20代	3	1.51%
30代	6	3.02%
40代	11	5.53%
50代	29	14.57%
60代	38	19.10%
70代	67	33.67%
80代	34	17.09%
90歳以上	10	5.03%
未回答	1	0.50%
計	199	100.00%

参加者数: 303
回答率: 65.67656766 %

●性別

選択肢	人数	回答率
男	51	25.63%
女	147	73.87%
そのほか	1	0.50%
未回答	0	0.00%
計	199	100.00%

●お住まい

選択肢	人数	回答率
小金井市内	177	88.94%
小金井市外	21	10.55%
未回答	1	0.50%
計	199	100.00%

国分寺市、武蔵野市、西東京市、小平市、府中市、
国立市、三鷹市、清瀬市

●どのような立場の方ですか？

選択肢	人数	回答率
一般来場者	161	80.50%
出展・出演者	7	3.50%
医療・介護事業所職員	15	7.50%
自治体職員	5	2.50%
地域包括支援センター職員	0	0.00%
その他	9	4.50%
未回答	3	1.50%
計	200	100.00%

民生委員、まちおこし協会職員、夫を地域デビューさせたい、家族介護者

●本事業を何で知りましたか？（複数回答可）

選択肢	人数	回答率
チラシ	50	21.10%
市報	70	29.54%
市公式LINE	28	11.81%
出展者・出演者からの紹介	19	8.02%
友人・知人に誘われて	25	10.55%
地域包括支援センターからの紹介	28	11.81%
その他	13	5.49%
未回答	4	1.69%
計	237	100.00%

通りがかり、認知症セミナー、家族会で、回覧板、手話サークルでお知らせを聞いて、MCS、ストレッチ教室、認知症力フェ

問2 ご参加いただいたものはいかがでしたか。

● 11月13日（水）

小金井市介護事業者連絡会 大介護防災安全博（小ホール）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	7	50.00%
よかったです	6	42.86%
どちらともいえない	1	7.14%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	14	100.00%

参加者数： 20

回答率： 70 %

満足度

認知症 映画「オレンジ・ランプ」上映会・家族会交流会（小ホール）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	38	70.37%
よかったです	13	24.07%
どちらともいえない	3	5.56%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	54	100.00%

参加者数： 75

回答率： 72 %

- 認知症といっても、その人の年齢や、社会的役割などで、起きてくる問題にたくさんのがあると思った。
- 映画ですから、キレイ事や良い人が多く登場していましたが、出来ない事を教えるよりも、出来る事を教えた方が、本人も周りも少し楽だということを改めて実感しました。
- 客観的に理解できました。
- ・展示等は情報共有としてよかったですと思うが、自身では興味があるわけではないので・映画はとても良かったです
- へんけんではなく、理解を何ごとにもと感動でした
- 交流がなかったのが残念だった
- 映画を見て気持ちが明るくなった。
- とても関心のある内容の映画なので、見て知られる事ができてよかったです。前向きな内容でうれしかったです。
- とてもよかったです。若年層の人が知るといい。
- 認知症になってもその人らしく生きることができるんだということが知れて良かった。
- いろいろ考えさせられました
- 認知症を身近な病気として再認識できた

ボランティアポイント シニアのためのボランティア登録会（マルチパーカースペース）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	1	1.85%
よかったです	3	5.56%
どちらともいえない	1	1.85%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	5	9.26%

参加者数 : 3
回答率 : 計測不可

介護職員初任者研修申込（マルチパーカースペース）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	1	1.85%
よかったです	3	5.56%
どちらともいえない	1	1.85%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	5	9.26%

参加者数 : 1
回答率 : 計測不可

福祉用具展示（マルチパーカースペース）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	5	9.26%
よかったです	7	12.96%
どちらともいえない	1	1.85%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	13	24.07%

参加者数 : 計測不可
回答率 : 計測不可

● 1月14日(木)

介護予防 講演「介護予防に必要な生活の中での運動量」(小ホール)

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	10	71.43%
よかったです	11	78.57%
どちらともいえない	0	0.00%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	21	150.00%

参加者数： 30
回答率： 70 %

- スライド説明ではっきりとわかりました

- 主人を最近亡くしました。今日のお話しをもっと早くに聞きたかったです。そしたら最近の時にもっとやさしくしてあげられたと思います。目がさめたら亡くなっていました。

介護予防 個別相談「介護予防に必要な生活の中での運動量」(小ホール)

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	3	37.50%
よかったです	5	62.50%
どちらともいえない	0	0.00%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	8	100.00%

参加者数： 4
回答率： 計測不可

生活支援 ステージ発表「レッツ地域デビュー！～セカンドライフを楽しもう～」(小ホール)

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	15	53.57%
よかったです	12	42.86%
どちらともいえない	0	0.00%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	1	3.57%
計	28	100.00%

参加者数： 129
回答率： 21.70542636 %

合算

- 出演者も観客も楽しそうにされていて、元気の出るステージでした。
- 混んではいたが、展示がみやすかった。
- イスヨガがとても気持ち良かった。
- せまくてゴチャゴチャしている。息苦しかった。換気が悪く咳をしている人が多く心配でした。
- ウクレレクラブから聴かせていただきました。楽しそうで良いと思いました。
- 皆さん活き活きとして輝いていました。
- この様な活動の場があることを初めて知りました。徐々に活用しようと思いました。
- 参加するものが少なかったので…

生活支援 活動体験等「レッツ地域デビュー！～セカンドライフを楽しもう～」(小ホール)

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	15	55.56%
よかったです	11	40.74%
どちらともいえない	0	0.00%
あまり良くなかったです	1	3.70%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	27	100.00%

参加者数： 129
回答率： 20.93023256 %

- 小ホールの展示スペースが小さかった。
- 秋山さんが親身に対応して下さいました。とても感謝しています。

在宅医療・介護連携 朗読劇「家で迎えた最期」～母の回想～（小ホール）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	10	45.45%
よかったです	12	54.55%
どちらともいえない	0	0.00%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	22	100.00%

参加者数： 45
回答率： 48.88888889 %

合算

- 昨年よりやり方に工夫がありわかりやすかった。
- 小まめに質問時間を設けてくれて質問し易かった。

在宅医療・介護連携 講演「元気なうちに考える「人生の最後まで私が大切にしたいこと」」（小ホール）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	15	68.18%
よかったです	5	22.73%
どちらともいえない	1	4.55%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	1	4.55%
計	22	100.00%

参加者数： 45
回答率： 48.88888889 %

- これから先の自分にとって、とても大切なことを、わかり易く、かつあたたかいふんい気でお話しいただきました。とても感謝です。
- 88歳夫肝内部胆管がん、7月に診断され、今後の生活にとても参考になりました。本人の意思の確認はまだはっきりしていませんが、今後の課題です。
- 最期に向けての心の準備が出来て良かった。
- 大井先生の話はとても分かりやすかった。
- 看取りまでの段階的な流れ、本人・家族がそれぞれ気を付けることについてよく理解できた。
- 介護される側には理想のお話です。そして介護をする側の若い人にこのお話を聞いて現状を知っていてもらえたたらと思います。まず介護保険の申請が必要でいろいろなくしづらり>があり中々むずかしいです。介護保険の利用方法など当事者にならないと関しんを持たないので。

ボランティアポイント シニアのためのボランティア登録会（マルチパーカースペース）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	1	1.85%
よかったです	5	9.26%
どちらともいえない	0	0.00%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	6	11.11%

参加者数： 計測不可
回答率： 計測不可

介護職員初任者研修申込（マルチパーカースペース）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	3	5.56%
よかったです	3	5.56%
どちらともいえない	1	1.85%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	7	12.96%

参加者数： 0
回答率： 計測不可

福祉用具展示（マルチパーパススペース）

選択肢	人数	回答率
とてもよかったです	4	50.00%
よかったです	3	37.50%
どちらともいえない	1	12.50%
あまり良くなかったです	0	0.00%
よくなかったです	0	0.00%
未回答	0	0.00%
計	8	100.00%

参加者数： 計測不可
回答率： 計測不可

- パンフレットがもらえたから

問3 ご意見・ご感想、今後希望するテーマ等がございましたらご記入ください。

- 最新の情報とともに勉強になりました
- 本フェスティバルの様な事を年4回位開催して下さい
- 映画とてもよかったです。見に来ていろいろ勉強になりました。
- ためになるテーマの映画を見させていただいて嬉しいです。上映会の場合、ビニール袋より不織布のほうがうるさくないのではと思いました。
- 人生の終わり方についてどう備えていくかを考える
- 映画は若い世代にも観てほしいので、土日開催を検討してほしい
- 私も40代の頃、記憶が消えていき、とられもうそう、場所がわからなくなる、ありました。記憶がなくなるのは映画の中と同じように不安の中で過ごしていました。
- 会場が寒かった
- はじめて出席しました。ありがとうございました。
- 高齢者施設で働いています。たくさん考えることがありました。
- ありがとうございました
- とても良い映画でしたが若干音量が大きいと思ったのは私だけ？でしょうか。認知症サポートー講座は以前受講しましたが、復讐できる会（講座）があればいいと思いますが
- サポーター養成講座を受講し、オレンジリングとバッジを持っているが、活用する場がない。
- 映画を観ていろんな支援活動があることが知れてよかったです。
- すばらしい機会をありがとうございました
- しゅみを持つ大切なことなんだなと展示やステージを見て思った。何かをやりたいモチベーションは人を病気から遠ざけるから私もしゅみを持ちつづけたいと思った。そしてこのよう発表の場がさらなるモチベーションにつながるので、このようなイベントはつづけていって欲しいです。
- シニアの方々のお元気な姿に、自治体の方々のご努力が伺えました
- にぎわっていてとても良かったです！
- 分類がよくわかりません。ステージの発表、ターゲット、ボッチャ、とても楽しかったです。
- もう少し広いスペースで行った方が良い。もったいない。
- 初めてだったのでどれも興味深かったです。
- 初めての経験で少し難しかった。今後の勉強になった。
- すごい多くの取り組み、素晴らしい
- 大変盛りあがっていて楽しかった
- 展示物は見やすくしてほしいです（70代です）
- ありがとうございました。
- すばらしく有益なイベントでした。大感謝です。
- 小金井がこれから色々良くなるという気持ちになれて、うれしい。パンフ、チラシ等、多くて家に帰ってから、ゆっくり読みたい。役にたっている。

令和 6 年度
お元気サミット・介護みらいフェス
実施報告

令和6年度主な実施概要

日時		内容	事業	参加者数
1月 13日 (水)	10:00 ～ 12:00	大介護防災安全博	介護事業者連絡会	20人
	14:00 ～ 16:00	映画「オレンジ・ランプ」上映会・家族会交流会	認知症	75人
1月 14日 (木)	9:30 ～ 10:00	講演・個別相談 「介護予防に必要な生活の中での運動量」	介護予防	30人
	10:00 ～ 12:30	レッツ！地域デビュー！ ～セカンドライフをたのしもう～	生活支援体制整備	129人
	13:30 ～ 16:00	【第1部】 朗読劇「家で迎えた最期」～朗読劇～ 【第2部】 市民公開講座 「人生の最後まで私が大切にしたいこと」	在宅医療 介護連携 推進	45人

※その他、各事業展示、ボランティアポイント登録会、介護職員初任者研修受付等も実施

令和6年度 入場無料！申込不要！

お元気サミット・ 介護みらいフェス

会場
小金井 宮地楽器ホール（小ホール等）
11月13日 水 10:00-16:00
14日 木 9:30-16:00
(武蔵小金井駅・南口徒歩1分)

11月13日 マルチバースペースではボランティアポイントの登録受付や
福祉用具の展示を行います！

- 10:00-12:00 小金井市介護事業者連絡会
大介護防災安全博
- 14:00-16:00 認知症
映画「オレンジ・ランプ」上映会・家族会交流会
- 10:00-16:00 ボランティアポイント
シニアのためのボランティア登録会

11月14日 マルチバースペースではボランティアポイントの登録受付や
福祉用具の展示を行います！

- 9:30-10:00 介護予防
(10:00-10:30個別相談)
講演・個別相談「介護予防に必要な生活の中での運動量」
- 10:00-12:30 生活支援
レッツ！地域デビュー！～セカンドライフを楽しもう～
- 13:30-16:00 在宅医療・介護連携
【第一部】朗読劇「家で迎えた最期」～母の回想～
【第二部】市民公開講座
元気なうちに考える「人生の最後まで私が大切にしたいこと」
- 10:00-12:00 ボランティアポイント
シニアのためのボランティア登録会

パネル展示

- 市内介護事業所の取り組み
- 医師会・歯科医師会・薬剤師会等の取り組み
- 小金井市の高齢者施策（介護予防、認知症、在宅医療、介護連携、生活支援等）

問合せ先 小金井市福祉保健部介護福祉課 包括支援係 TEL) 042-387-9845

[主催：小金井市、小金井市介護事業者連絡会]

とき	ところ	内容	講師・その他
11/13 (水) 開場 9:45	小ホール	<p>■介護事業者連絡会 日は採するこの日の必要な用具を展示します。 見て触って体験しませんか？ 福祉的に役立つ用 具の展示、消防、警察による防火安全相談。</p>	協力： 小金井消防署、 小金井警察署
		<p>■映画「オレンジ・ランプ」上映会・家族会交流会 【申込方法については、下記「申込手順」で 別途お読みください】</p> <p>9時半、「10年間で最もハイレベル認知症」と診断 されたおじいちゃんモデルの歌番号上校します。 この他にも、障がいで認知症について 考えてみませんか？</p> 	講師： 「オレンジ・ランプ」 監修：小金井市介護事業者連絡会
11/14 (木) 開場 9:15	マルチバースペース	<p>■シニアのためのボランティア登録会 ボランティア登録をして、市内の介護事業所等で 活動しませんか？</p>	協力： 小金井市商工会
		<p>■認知症・個別相談 「介護予防に必要な生活の中での運動量」 運動は万能薬です。健康維持に必要な運動量を、 普段の生活の中で達成するポイントについて お話しします。</p>	講師： 小金井リハビリテー ション連絡会
	介護予防	<p>■レツ！地域デビュー！ ～セカンドライフを楽しもう～ これから地域デビューしたい方 地域活動団体の方の出会いの場です。自分のやりたいこと を絆つなげてつなげて、地域を盛り上げて、地域を 盛り上げませんか？ ステップ開 業、活動体験会、用意しています。</p>	協力： 生活支援コーディ ネーター、 地域活動団体
		<p>■朗読劇 「家で迎えた最期」～母の回想～ 要介護の母親を看取るまでの物語を、ご来場の方 へ朗読や質問、資料配布、薬剤師等の解説を交え ながら、朗読で伝えします。</p>	出典： 小金井市在宅医療・ 介護連携推進会議 事務局対応・普及 支援部会員
	生活支援	<p>■市民公開講座 元気なうちに考える 「人生の最後まで私が大切にしたいこと」 おおい在宅医療クリニックの 大井先生から看取りについて講演 いただきます。</p>	講師： 大井利氏 (大井市在宅医療 ケアクリニック院長 日本医科大学口腔 リハビリテーション 多摩クリニック薬剤 教授、NPO 法人 くみやま 共同代表 理事)
		<p>■在宅医療・ 介護連携</p>	<p>■シニアのためのボランティア登録会 ボランティア登録をして、市内の介護事業所等で 活動しませんか？</p>
10:00-12:00	マルチバースペース	<p>■シニアのためのボランティア登録会 ボランティア登録をして、市内の介護事業所等で 活動しませんか？</p>	協力： 小金井市商工会

※内容は変更となる場合があります

催しの様子



【展示】

【映画「オレンジ・ランプ上映会】



映画「オレンジ・ランプ」上映会・ 家族会交流会の概要

日時：令和6年11月13日（水）午後2時～午後4時

会場：小金井 宮地楽器ホール 小ホール

内容：39歳で「若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野智文さんがモデルの映画を上映。その後、映画の振り返りとまとめ、相談先や認知症サポーター養成講座の紹介行った。



アンケート結果

参加者数 75人
うちアンケート回答者数 54人 (回答率 72%)

選択肢	人数
とてもよかったです	38
よかったです	13
どちらともいえない	3
あまりよくなかったです	0
よくなかったです	0
未回答	0
計	54

主なアンケート結果（評価の理由）

【自由記述 認知症】

- 認知症といっても、その人の年齢や、社会的役割などで、起きてくる問題にたくさんの違いがあると思った。
- 映画ですから、キレイ事や良い人が多く登場していましたが、出来ない事を教えるよりも、出来る事を教えた方が、本人も周りも少し楽だということを改めて実感しました。
- 客観的に理解できました。
- 映画はとても良かったです。
- へんけんではなく、理解を何ごとにもと感動でした。
- 交流がなかったのが残念だった。
- 映画を見て気持ちが明るくなった。
- とても関心のある内容の映画なので、見て知られる事ができてよかったです。前向きな内容でうれしかったです。
- とてもよかったです。若年層の人が知るといい。
- 認知症になってもその人らしく生きることができるんだということが知れて良かった。
- いろいろ考えさせられました。
- 認知症を身近な病気として再認識できた。

認知症施策事業推進委員会委員

区分	委員名	郵便番号	所属	期数
小金井市医師会を代表する者	竹田 溪輔	184-0014	小金井 竹田内科・小児科・在宅クリニック	1期目
小金井歯科医師会を代表する者	平田 晋一	184-0011	平田歯科医院	1期目
小金井市薬剤師会を代表する者	諏訪部 孝紀	184-0004	イサク薬局	2期目
小金井市内の医療機関医療連携相談室担当者	菊池 里香	184-8511	桜町病院認知症疾患医療センター	5期目
訪問看護ステーションを代表する者	林 絵美子	184-0014	わそら街なかナースステーションサテライト アン訪問看護ステーション	5期目
居宅介護支援事業所を代表する者	中村 麻紀子	184-0004	ケアプランH E R B	2期目
介護保険サービス事業所を代表する者	森田 和道	184-0014	また明日デイホーム	3期目
認知症家族会支援事業所を代表する者	市村 直子	184-0004	小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター	2期目
小金井市商工会を代表する者	木下 有起範	184-0004	セブンイレブン武蔵小金井北口店	1期目